



☎ 011-590-1757

📠 011-590-1767



© dak

## 「りんくる」オープンから10か月！

こどもサポート「りんくる」が、2025年3月1日にオープンして、約10か月となります。この間、利用を始める際にご説明いたしました以下の「りんくるのめざす支援」を実践してまいりました。

- (1) 様々な違い（多様性）を持ったお子さま、また、年少児から高校生までのさまざまな年齢のお子さまが同じ環境の中で活動し、お互いを認め合いながら、自分の好きなことを追求することを実現する場所を提供し、すべてのお子さまがこれからの人生を自分らしく生きることができる力を養うために一人ひとりの苦手やつまづきに合わせて個別支援を中心に療育を行います。
- (2) ICT機器を提供し、eスポーツ、タイピング、プログラミングなどを「やってみたい」「できた」という経験を積み重ねることにより、自己肯定感を高めます。
- (3) 集団療育の場面では、集団で遊びたい子どもが、子ども同士でルールを作ることができるよう支援します。
- (4) 何かをしなければならぬことから開放され、安心して過ごすことができ、次のステップのためのクールダウンと回復する力を高める場所（サードプレイス）を目指します。
- (5) 将来的な自立に向けてそれぞれの子どもがもともと持っている素敵な能力を高めることを目指します。
- (5) どうしても自分で解決できないことを他の人に助けを求める（援助要求）スキルを身につけることを自立への第1歩として、重点的に支援する。

また、この間、知育玩具を取り揃え、iPadを2台購入しました。今まで以上に多様な個別支援、集団支援に対応できる環境が整いました。



# 成長の足あと！

個々のお子様が必要とする支援、また、集団活動に対応した支援を継続的に行ってまいりました。支援の効果が、「劇的にすぐ現れる」と期待するのは現実的ではありません。長い時間をかけて、繰り返しの支援を行うことが必要です。お子さまが持っている可能性を引き出し、日常生活や社会生活への適応力を高めるためには、焦ることなく、温かく、お子さまを見守ることが大切です。支援の効果が、思ったように現れないことに関わるような声かけや他のお子さまと比べるような声かけは、お子さまの自己肯定感や自尊心を損なうこととなります。

さて、この10か月間で、お子さまがどのように成長したかを振り返ってみます。

- 自分が困ったときに、スタッフに助けを求めることができるようになってきました。
- 他の子に「かしてね」とか、遊びに「いれて」とか、声をかけることができるようになってきました。
- 他の子に、おもちゃをかしてと声をかけられた時、「いいよ」とか「ちよってまって」とか、自分の気持ちを伝えることができるようになってきました。また、そのように言われた子は、その気持ちを理解して、行動できるようになってきました。
- 他の子とかかわりをもつことが、苦手な子が自分からかかわりを持とうとする行動ができるようになり、楽しく遊ぶ場面が増えてきました。
- 自分でりんくるで取り組む課題（プリント学習・ハサミの使い方など）を考え、自主的に課題に取り組むお子さまが増えてきました。
- 中高生の利用者のお子さまは、自分で活動の計画と目標を考え、1日の活動の振り返りを書き、次回の活動の参考とすることができるようになりました。
- 自分の使ったおもちゃを片づけ方を見える化すると、しっかり片づけることができるようになりました。



- ・12月26日(金)～1月14日(水)まで、冬休み営業時間となります。
- ・上記の期間、月曜日～金曜日の利用時間は、9:00～17:00となります。
- ・自宅等への迎えの時間は、9:00～9:30の間になります。  
また、冬期間のため、天候の状況により、送迎時間が予定より遅延する場合がございます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
- ・利用時間によっては、お弁当を持たせて下さい。
- ・「りんくる」の年末年始の休業期間は、12月30日(火)～1月4日(日)です。

冬休み期間、天候の良い日は近くの公園で外遊びをします。外遊びを希望するお子様は、防寒の用意をお願いします。(帽子、手袋、タオル、着替えなど)

1月中旬に、「りんくる」の自己評価アンケートを実施します。1月初旬に保護者の皆様にアンケートを配布し、1月末までに、回答していただいたアンケートを回収いたします。ご協力、お願いします。